

# 日本写真学会 第31回カメラ技術セミナー

2024年11月8日(金) 10:30~20:30 東京都写真美術館

- 主催** (一社)日本写真学会 カメラ技術研究会  
**協賛** (一社)画像電子学会, (一社)日本印刷学会, (一社)日本画像学会, (一社)日本オプトメカトロニクス協会 (順不同)  
**日時** 2024年11月8日(金) 10:00(受付開始) 10:30~20:30(情報交換会含む)  
**会場** **講演会** 東京都写真美術館 1F ホール (〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内)  
**情報交換会** YEBISU GARDEN CAFÉ (恵比寿ガーデンプレイスタワー3F)  
**参加費** 正会員・賛助会員・協賛学協会員 10,000円 非会員(一般) 11,000円  
学生会員 3,000円 非会員(学生) 4,000円  
**申込方法** 参加申込の方は、参加募集ページ → <https://forms.gle/duDMU7NzvJLBY3s6> で参加区分(参加費別)のボタンを選択し、「参加登録」(Google Forms)に記入・送信した後に、「お支払いへ」お進みください。  
**参加費支払** 「お支払いへ」ボタンからリンクする支払サイトで参加費をお支払いください。  
支払い方法は、クレジットカード、ApplePay または GooglePay が利用できます。  
**申込締切** 2024年10月25日(金)  
**連絡事項** 講演終了後、情報交換会(18:30-20:30)を開催致します。参加無料ですので、ぜひ最後までご参加ください。  
講演テーマおよび講師については、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。  
最新の情報は、日本写真学会ウェブサイト(<https://www.spjij.jp/>)をご確認ください。

## プログラム

- 10:30~10:40 開会挨拶
- 10:40~11:25 講演1 『TAMRON 90mm F/2.8 DiIII MACRO VXD (model F072)』の開発  
小林知広氏 (株式会社タムロン)  
2024年9月に発表した『90mm F/2.8 DiIII MACRO VXD』は、1979年の発売以来タムロン伝統のレンズである90mmマクロの最新世代にあたる。本講演では、その歴史を概観しつつ、ネイチャーからポートレートまでオールラウンドに対応できるマクロレンズという伝統の継承とミラーレスカメラへの最適化を両立した本製品の特徴を紹介する。また、独自のモバイルアプリを用いたマクロ撮影法も紹介する。
- 11:30~12:15 講演2 SIGMA 500mm F5.6 DG DN OS | Sports の開発について  
朝倉健氏 (株式会社シグマ)  
シグマは2024年3月に小型軽量の超望遠単焦点レンズであるSIGMA 500mm F5.6 DG DN OS | Sports を発売した。本レンズは優れた描写、AF、手振れ補正性能を有しつつも小型軽量であり、高い機動性をユーザーに提供する。本講演ではこれらの特徴を実現した開発内容について紹介する。
- 13:30~14:15 講演3 FUJIFILM X100 シリーズのデザイン  
今井雅純氏 (富士フイルム株式会社)  
FUJIFILMのハイエンドコンパクトカメラ「X100シリーズ」は、2011年に初代機を発売して以来、世界中のユーザーから支持され6世代目まで進化した。その間デジカメ市場の盛衰に影響を受けず販売実績を伸ばし続けている要因の一つである「外観デザイン」について、初代までの経緯や込めた想いから、最新機種X100VIまでを紐解く。
- 14:20~15:05 講演4 LUMIX S 100mm F2.8 MACRO の開発  
藤中広康氏 (パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション株式会社)  
世界最小・最軽量(AF対応フルサイズミラーレス用交換レンズ、焦点距離90mm以上の等倍マクロレンズにおいて)を実現した、LUMIX S 100mm F2.8 MACROについて、本機に初搭載された「デュアルフェイズリニアモータ」をはじめ、小型・軽量化を実現した技術について解説を行う。
- 15:20~16:05 講演5 フィルムコンパクトカメラ PENTAX 17 の開発  
飯川誠氏 / 能村洋一氏 (リコーイメージング株式会社)  
2024年7月、リコーイメージングは、21年ぶりのフィルムカメラ製品「PENTAX 17」を発売した。本機は、2022年12月に発表の「フィルムカメラプロジェクト」から誕生したモデルであり、35mm判フィルム1コマの約半分(17×24mm)のハーフサイズフォーマット、新開発の焦点距離25mm(35mm判換算で約37mm相当)の単焦点レンズを採用した。本製品の企画背景と光学設計について紹介する。
- 16:10~16:55 講演6 α9IIIに搭載されたグローバルシャッター方式フルサイズイメージセンサーの開発  
上村晃史氏 (ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社)  
ソニーは、2024年にグローバルシャッター方式フルサイズイメージセンサーを搭載したデジタル一眼カメラα9IIIを発売した。本公演では、グローバルシャッター方式のCMOSイメージセンサーをどのように実現したのか、ソニーセミコンダクタソリューションズのイメージセンサーの差異化技術の追求(キーテクノロジーの進化)の歴史を振り返りながら紹介する。
- 17:10~17:55 講演7 フォトグラメトリ、LiDARを用いた3Dスキャンと構築技術  
内田孝幸氏 (東京工芸大学)  
フォトグラメトリは古くは「写真測量」と訳していたが、最近では「多視点画像からの3D構築・造形」という意味で広く用いられるようになってきている。これはスマホの急速な技術進展に代表されるようにカメラのみならず周辺機器、ドローンやLiDAR、SfMソフト、ハードの進展と共に発展している。本講演では、これらの技術を用いて地形や建物さらには人などへの3Dスキャン、構築、造形についてその適用例を紹介する。

- 17:55~18:00 閉会挨拶  
18:30~20:30 意見交換会

**問合せ先** (一社)日本写真学会事務局 カメラ技術セミナー係  
E-mail: [info@spjij.jp](mailto:info@spjij.jp) Tel: 03-3373-0724 Fax: 03-3299-5887